

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ACADEMY PLUS		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 17日		2026年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	継続して訪問観察を継続することで、時系列の成長変化に気が付くことができる。	子ども支援の専門的な知識を持った支援員が訪問することで多岐にわたる観点から子どもの現状について客観的に評価することができている。	継続した訪問観察を継続していく際には今後も継続して外部講師からの研修を受けるなど、変化に気が付く視点をより高めていく。
2	観察訪問を通して受けている環境的な配慮や本人が感じている負担に観察を通して気が付く場面があり、それを学校等に共有することで環境の改善に寄与できている。	保護者の同意を得て、毎月支援の内容を学校等に継続して報告することができている。	学校等に提出する訪問記録にて成長変化の部分や改善できるポイントについても今後は共有していけると良い。
3	定期的な訪問観察ののちには学校等との共有会議を開催。本人の様子や環境等について第三者の立場から一緒に考えることを継続している。	本人の様子、環境的な配慮、学校、ご家庭の状況を踏まえた観点で会議に参加し、また、今後どのようなアクションをしていくのか、具体的な行動を一緒に考えていくよう心がけている。	専門的な立場からの知見を求められることもあるため、今後も継続して特性等に対する専門的な知識について向上させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用希望が増えている中で学校との訪問日の日程調整、学校まで移動などを効率的にしていけることが必要である。	メール等を活動して日程を調整するが、時間がかかってしまう。	メール等で日程調整や日程に応じた移動の時間についてより効率的に配置していく工夫を継続して検討していく。
2	学校への登校が難しい児童の場合、訪問するが登校していないケースも見られる。	当日の体調等に応じて、学校への登校の波があるため、なかなか日程を調整していくことが難しい。	安定した登校を継続していけるような環境調整をしていながら、環境や負荷について関連機関と連携していく。
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 WALLESS ACADEMY

公表日 2026年 3月 25日

利用児童数 40人

回収数 20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	9	1	0	10		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15	1	0	4		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18	2	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18	1	0	1		相談員やご家族、学校と相談をしていきながら利用の回数について調整していく。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	20	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	1	0	3		学校側と計画作成するには至っていない。学校との共有会議で得られた情報をもとに作成をする。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	2		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	2		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	3	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	17	0	0	3		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	4	0	0		ご家庭において相談等があった場合には面談日を設けるように取り組んでいく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1	0	1		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	0	0		ご家庭で生じる不安なことへの相談対応ができることを今後も継続して周知していく。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	1		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	0	0	1		学校等からの相談がある場合については定期的な共有会議等にて一緒に課題感を持って取り組んでいく。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	18	1	0	1		訪問時に個別話し合いが学校側としても困難な場合がある。そのため、共有会議を定期的で開催していく。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	13	3	0	4		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	17	0	1	2		
	28	事業所の支援に満足していますか。	18	1	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		WALLESS ACADEMY					公表日	2026年 3月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	1				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	3	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	4	1				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	3	2				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	4				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3	2				
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	5	0				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	1				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	4	1				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	5	0				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	5	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	1	4				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	4	0				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	4	0					
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	4	0					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	1		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	1		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1		
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	1	ペアレントトレーニングにて毎回ではないが、定期的にカンファレンスは実施している	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			
WALLESS ACADEMY		2026 年 3 月 25日			
		利用児童数		回収数	
		40		8	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	8			いつも丁寧に毎月の支援経過を送ってくださるのでありがたいです。 こちらも児童支援に手詰まり感があったため、毎回勉強になっています。ありがとうございます。 生徒の様子を共有してともに考えることができてよかったです。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	8			学校サイドからは保護者に伝えにくいこともわかりやすく、保護者の気持ちに寄り添って伝えていただき、ありがたいです。 特に今年度は、進学に向けて生徒に寄り添っていただきました。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	1		こちらから質問をしたことがないため、この回答にしました。 上記のとおりです。 デイサービスでの様子を詳しく教えていただくことで、学校での支援を考えることができました。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2	2	本人の気持ちや保護者の方の押し出す力を上げるのは難しいですね。 手探りで支援でしたが、方向性が見えたことで迷うことも少なくなってきました。 保育所等訪問についての情報は得ることができました。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	8			定期的な支援会議をしたり、支援経過を共有したりしてくださるのでありがたいです。 事業所が保護者や学校に寄り添ってくださり、一緒に考えてくださることがありがたかったです。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも大変お世話になっております。スタッフの皆さんが一人一人の特性に寄り添っていただき感謝しております。保護者も学校以外の支援で心身助かっていると感じます。専門的な通級支援も有り難いです。せっかく来ていただいたのも本人不在もあることが申し訳ないです。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。</li> <li>・保護者会に同席いただき、共有できることが増えていてありがたいです。中学校にスムーズにつながられるよう引き続きよろしくお願いいたします。</li> <li>・ケース会議にて、授業の見取りや普段の様子を詳しく伝えてくださっていることで、保護者が知らない本人の一面を知ることができている様子でした。学校としても相談できる相手がいることに助かっています。また、今後ともよろしくお願いいたします。</li> <li>・遠いところ、また、時間の調整も大変な中、何度も来校いただきありがとうございます。非常に心強く思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。</li> </ul>				<p>本人の特性を踏まえた支援において、教育と福祉との連携は不可欠である。授業等環境面を継続して観察させていただく上で、学校からの協力は第一条件となる。 本人やご家族がより安心して学校生活を送っていただけるよう、学校側の協力をもらいながら、丁寧に訪問支援活動を継続していく。 学校側からも安心した受け入れを続けていただけるようより一層訪問支援の質の向上に取り組んでいく。</p>	